

進路だより

福岡県立築城特別支援学校 進路指導課

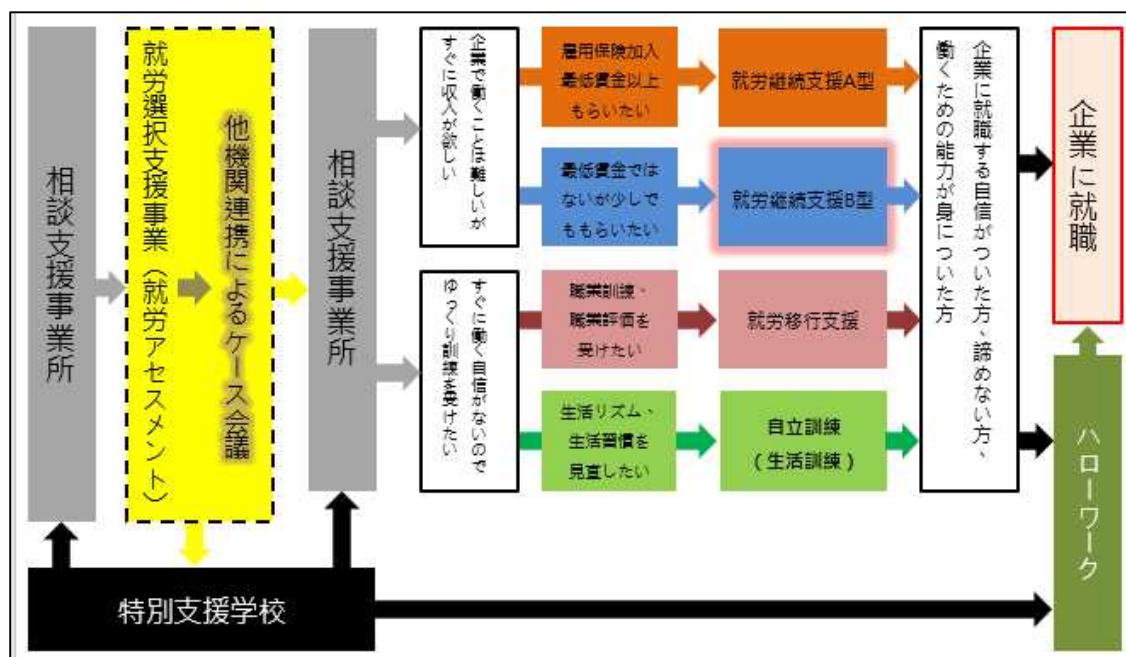
進路サポートセミナーが行われました!

夏休み期間中 ①7/30(水)、② 7/31(木)、③ 8/28(木)に、職員・保護者を対象に、外部から講師の先生をお招きして研修会を行いました。研修会の内容をまとめているので、ご覧ください。

① 高等部卒業後、利用できる福祉サービスについて

講師：豊築地区自立支援協議会就労支援部会より

ソーシャルサポートTsukinowa 桐村直照様、就労支援センター出逢い 榎本肇様、相談支援センター空の窓 緒方雄一様



研修会資料より抜粋

・まずは市町村から委託されている相談支援センターや市町村の福祉課に相談してほしいと思います。

・R7年10月から就労選択支援という新しい制度が始まりますが、この地域でどう展開されていくのか、分かっていないことが多いです。分かり次第、情報提供いたします。

(本校でも「進路だより」などでお知らせいたします。)

家庭状況の急変で施設入所した事例

幼少期からショートステイを含む様々なサービスを

利用していたおかげで、いろいろな人からの支援に慣れていました。そのため、急ではありましたがスムーズに移行することができました。

ショートステイは1泊約3~4千円の費用が掛かります。(事業所等によって差があるため確認が必要です。)

② 不登校や登校しぶり経験がある児童生徒の進路について

講師：YU.RA.LAカウンセリング・キャリアコンサルティングOFFICE 代表池田幸恵様

はじめに

不登校は止まっているのではなく、
自分に出会っている時間
だから、自己理解のチャンス！！

アイデンティティの形成で大切なこと

大切なのは周りの人のことば

「〇〇ちゃんって、やさしいね」
静かな場所が落ち着くんだね
これをしている時とても集中しているね



自分で気づけたと思える声かけ

研修会資料より抜粋

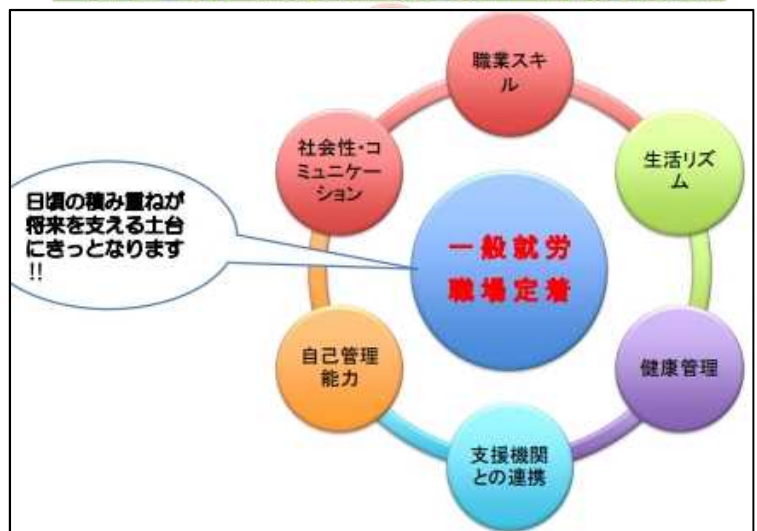
- ・自分の特性を知ることはとても重要です。本人が自分で気付けたと思えるように、周りから「〇が好きなんだね。」「〇のときは集中できてるね。」などの言葉掛けを行うことが大切です。
- ・自己理解を深めて、仕事や未来の自分にワクワクしましょう！

③ 高等部卒業後、一般就労をするためには

講師：障害者就業・生活支援センターエール センター長 川上俊輔様

「働くため」「働き続けるため」に必要な要素

- ・「進路はゴールではなくスタートです。」
- ・「こんな暮らしやこんなことをやってみたい。」という本人の思いを大切に、挑戦できる環境を作りましょう。
- ・思いを将来につなげていくために、「働くため」「働き続けるため」に必要な要素を日頃から積み重ねていくことが大切です。
- ・本人のライフステージに応じて、活用できる社会的支援（支援機関）も様々存在します。どのような支援機関があるのかを確認しておくことも、本人の可能性を発揮することにつながります。



研修会資料より抜粋